



このたび弊社**宇都宮製作㈱**は、**本社を大阪市中央区の谷町へ移転することになりました。**
今回は、新天地である谷町とその周辺についてご紹介させていただきます。

上町台地 (うえまちだいち)

弊社の移転先「谷町」は、上町台地の北部に位置します。
上町台地とは、北は大阪城あたりから南の住吉あたりまで
南北に約12km、東西に約2kmの高台を指します。

上町台地は医療・福祉の原点ともいえる場所です。
聖徳太子によって建立されたと伝えられる四天王寺は
上町台地の中ほどに位置し、敬田院(きょうでんいん)、
施薬院(せやくいん)、療病院、悲田院の四箇院を設置
していました。

薬草を植え、病気の者に薬を施す「施薬院」や、病気の
者を収容して病気を癒す「療病院」、身よりのない
者や年老いた者を収容する「悲田院」は、まさに日本の
福祉医療の原点といえます。

近代になって、これらを継承するものとして社会福祉
法人四天王寺福祉事業団や四天王寺施薬療病院
(四天王寺病院の前身)が設立されています。

近代医療も上町台地から始まります。

明治に改元される半年前の慶応4年、明治天皇は大阪
行幸にあたり、病院と医学専門教育学校の建設を命じました。

しかし、財政難から建設は実現せず、明治2年に大福寺(天王寺区上本町4丁目)の境内を借りて浪華仮病院
を開くこととなります。

院長の緒方惟準(これよし ※適塾を開いた緒方洪庵の次男)は、病気治療だけでなく医学教育にもあたりました。
浪華仮病院は、半年後移転し、大坂府医学校病院となります。その後、学制改革により大坂医学校は
廃止となりますが、翌年、西本願寺津村別院内に大阪府病院が建設されます。

その後、大坂府病院は、名称変更などの紆余曲折を経て、現在の大阪大学医学部となりました。

● 上町台地(北部)と宇都宮製作㈱ 新社屋



●●● 小話 ～ 新社屋 周辺にまつわるお話 ～ ●●●

<大阪城(大坂城)の秘密>

大阪のシンボルである大阪城は、太閤さん(豊臣秀吉)のお城として親しまれています。

しかし、豊臣秀吉が築城した大坂城は秀吉没後に大坂夏の陣で焼失、その後、徳川2代将軍秀忠の命のもと、
2代目の大坂城が再建されました。今も残る石垣やお濠(ほり)は、徳川幕府の手で造られたものです。
石垣に使われた石は100万個にも上るといわれ、瀬戸内の島々や九州から運ばれてきました。その後、1662年
に落雷により天守閣が炎上。現在の大阪城天守閣は、3代目として大阪市民の手によって再建されました。

<谷町とタニマチ>

力士のひいき筋を意味する「タニマチ」は、明治の末に大阪・谷町で、力士を無料で診察した
相撲好きの医師が語源と伝えられています。

参考文献：『上町学 再発見・古都おおさか』 学校法人 追手門学院 発行

2017年2月27日(月)より本社を移転、新住所にて営業を開始いたします。